

# プラスチックリサイクルの 現状と燃料化技術

## ～重要性を増しているプラスチック資源の有効利用～

プラスチックは、限りある資源である石油から作られており、そのリサイクルは資源の有効活用や循環型社会の構築といった面から、ますます重要性を増しています。また、社会的にも環境が大きく注目される中、プラスチックリサイクルとその周辺には、新たなビジネスチャンスも生まれています。本セミナーでは、現在行われている、廃プラスチックの処理と資源化の概要を解説していただくとともに、本県で実際にリサイクルに携わっている講師から、固形燃料化の事例を紹介していただきます。

主催：静岡県、静岡県資源環境技術研究会

後援：(社)静岡県環境資源協会、静岡県環境ビジネス協議会

静岡県燃料電池技術研究会、静岡県プラスチック技術研究会

■日時 平成 23 年 3 月 10 日(木) 13:30～16:00

■会場 静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター 講堂  
(富士市大淵 2590-1、TEL: 0545-35-5190)

### ■内容

講演 1: 13:35～14:35

#### 「プラスチックリサイクルの現状と課題」

(社)プラスチック処理促進協会 広報部 西谷 吉憲 氏

2000 年の循環型社会形成基本法、他関連法が整備されたこともあり、「循環資源」としての廃プラスチックの処理は大幅に進展、1995 年に 50%であった有効利用率は 2009 年には 79%に達しました。しかしながら残された課題も多いのが実状です。本講演では、リサイクルの現状とリサイクル手法の LCA 評価について概説します。

14:35～14:45 休憩

講演 2: 14:45～15:45

#### 「プラスチック燃料製造ビジネスの課題と対応」

(株)エコネコル 立花 忍 氏

プラスチック・リサイクル・ビジネスは、常に原油価格と為替に影響を受けるという宿命にあります。燃料化には油化やガス化も技術的に可能です。ビジネスとして成功するには技術的なハードルだけでなく、出口戦略を確実に作っていく必要があります。本講演ではその両面から核心をプレゼンします。

■定員 50 名 (定員を超え次第、締め切らせていただきます。)

■参加費 無料

## ■ アクセス

お車が便利です。

<お車の場合>

- ・JR富士駅から約 7km
- ・JR新富士駅から約 7km
- ・東名高速道路富士インターから約 2km



## ■ 申込〆切

平成 23 年 3 月 7 日(月)

## ■ 申込方法

①会社名・会社住所 ②所属・氏名、③連絡先(TEL 等)を明記の上、メールでお申し込みください。

(メールが都合の悪い方は、下記の FAX 票をお使いください)

※参加票はありません。定員超過で御出席いただけない場合には、事務局から御連絡いたします。

## ■ 問合せ・申込先

メールの場合⇒

E-mail: [ootake@iri.pref.shizuoka.jp](mailto:ootake@iri.pref.shizuoka.jp)

静岡県資源環境技術研究会事務局 大竹

TEL 054-278-3026、FAX 054-278-3066

FAX の場合 ⇒ (以下の表に記入の上、お申し込みください)

FAXによる参加申込欄		FAX:054-278-3066、大竹宛		
会社名				
会社住所	〒			
連絡先	TEL			
	メール			
参加者	所属		氏名	
	所属		氏名	